

開 花の観察をする

タイミ^{のが}ングを逃さず 稲の^{いね}開^の花^がを^を観^を察^しし^よう



稲の花は、わずかな時間しか咲きません。花が咲いたら、その様子を観察したり、受粉^{じょうふ}状態^{たいせい}を変えたりして、花について調べてみましょう。

実験と観察の項目^{こうもく}■例

- 稲の花の形を観察する。
- 稲の花が開花する順番などを観察する。
- 稲の花を受粉させる体験をする。

実験と観察の方法とポイント

実験

稲の花がいつ咲くか観察します。どのくらいの時間咲いているか、時間を測ります。

方法

稲の穂^ほが出てきたら、何時に花が咲いて、何時に花が閉じるか調べます。花の形や構造^{こうぞう}もあわせて観察します。

観察

朝から30分か1時間ごとに、花が咲く様子を観察します。また、花はどのような構造になっているかをよく見てください。

結果

稲の花は、午前中の2時間程度^{ていど}しか咲きません。えいがぱっくりと開いて中からクリーム色のおしべが出てきます。受粉が終わるとおしべを外側に残し、固く閉じます。

ポイント

稲の花は、なかなか見ることができません。見逃さないように、稲の穂が出てきたら注意深く観察してください。その後、えいの中の子房^{しぼう}がふくらみ、次第にお米になっていきます。

花が咲いている時間は短いため、気をつけておきましょう。



稲穂が出てきて……



稲の花が咲きました



かれんな花です